



～OCスタッフメッセージ～



オープンキャンパススタッフをするにあたり、昨年私が植草学園のオープンキャンパスを訪れた際の、先生方や先輩方の様子を思い出しました。私は、沖縄から本学に進学すると決めていたのですが、環境の違いなどに不安がありました。しかし、オープンキャンパスで先生方や先輩方が親身になって相談に乗ってくれたので、安心して受験することができました。今回、私がオープンキャンパススタッフとしてできることは、一人ひとりの話を耳を傾け、植草学園の良さを伝えるとともに、大学進学にあたり、親元を離れて一人暮らしする受験生の不安を少しでも軽くして、安心して本学を受験できるように、自分の体験を踏まえて相談に乗ることだと思いました。

5月14日は、スタッフとして初めてのオープンキャンパスでした。はじめはうまく対応できるか不安でしたが、先輩方のフォローもあり徐々に緊張もほぐれました。また、参加者のみなさんも、積極的に質問をしてくれて、互いに有意義な時間を過ごせた気がします。今回、スタッフを務めてみて、改めて植草学園の良さを知り、入学して良かったと心から思いました。ぜひ、みなさんもオープンキャンパスに足を運んでみてください。

大学 発達教育学部 発達支援教育学科 1年 仲村渠 ひかり
沖縄県私立沖縄尚学高等学校出身



オープンキャンパス等の情報を、「LINE@」で発信しています。ぜひ、ご登録（友だち追加）いただき、ご活用ください！

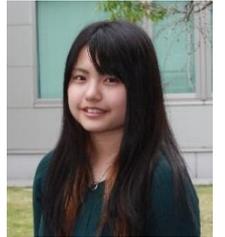
～学生からのメッセージ～

私は静岡県からここ千葉県に来ました。一人暮らしは初めてのなのでとても不安でした。しかし、大学に慣れて行くにつれて友だちが増え、先輩との関わりも多くなり、今はとても楽しい大学生活を送っています。

大学では、実際に特別支援学校で勤務されていた先生の授業があり、経験を交えて講義をさせていただきます。先生としての関わり方や学校現場の現状などを詳しく教えてくださいるので、とても良い勉強になりました。

2年生からはもっと専門的な授業が多くなるので、しっかりと身につけて行きたいと思えます。また、サークル活動なども行い充実した学生生活を送りたいです。

大学 発達教育学部 発達支援教育学科 2年 鈴木 美由羽
静岡県立伊東高等学校出身



一年間、理学療法士になるために必要な勉強をしてきて、人間はすごい生き物だなと感じました。1年生の時には、基礎となる人体の構造や仕組みを詳しく勉強しました。例えば、日常無意識に歩く時に、関節や筋肉がどのように動いているのか？など習慣化している一つひとつの動作を勉強しました。無意識の動作をいざ意識して考えてみると難しい部分もありますが楽しい部分もあります。また、さまざまな経験を積んだ先生方から臨床の話をつかひながら勉強できるので、座学でも実習に近いことを学べてとても楽しいです。

私は中学・高校とバスケットボールをやっていたこともあり、将来はスポーツリハビリの病院に就職したいと考えています。そのため、基礎を理解することはもちろんですが、スポーツごとの細かい動きなどを見て理解する力や、それにアプローチする能力が大切なので、さらに専門的なことを勉強していきたいと思っています。

大学 保健医療学部 理学療法学科 2年 山崎 美佑
千葉県私立植草学園大学附属高等学校出身



～卒業生からのメッセージ～



私は船橋市に保育士として採用していただき、公立保育所で保育士をして2年目です。1年間の経験で思うことは、知識が多いことは強みになるということです。子どもの発達の流れだったり、見合った遊びだったりを知っていると、とても保育に役立ちます。子どもたちそれぞれ発達や性格が違い、好きな遊びも違いますが、その中で実態や興味に即した遊びを見つけ、伸ばしていけることがやりがいの一つだと思います。大学で学んだ遊びの知識や、実践、発達の勉強がとても生かされていると実感します。

保育士をめざす後輩のみなさん、まずは子どもの気持ちになって、いろいろと玩具で遊んでみてください。その楽しさや楽しさを知ることが遊びの引き出しに繋がっていきますよ。

大学 発達教育学部 発達支援教育学科 5期生 野口 裕希
千葉県立佐原白楊高等学校出身